

令和3年度 大阪府立河南高等学校 第3回「学校運営協議会」 報告

日 時 令和4年3月24日（木）

場 所 本校 校長室

委 員 吉川 測雄（大阪ファッションアート専門学校）：委員長 ※敬称略  
島 善信（前 大阪教育大学特任教授）  
恵島 明（株式会社「えじま」会長）  
後田 有里（PTA）

事務局 仲谷校長、仲内教頭、寺田事務長、倉原首席、永田進路指導主事、

議 事 (1) 現状報告

- ① 令和3年度学校経営計画、学校評価について（校長）  
令和4年度学校経営計画について
- ② 授業アンケート（第2回）について（教頭）
- ③ 学校教育自己診断の結果について（倉原首席）
- ④ 今年度を振り返って
  - 進路途中経過
  - 広報委員会

(2) 質疑・応答

入試について

委員

- ・南河内地区も私学に生徒を取られている感じがする。府全体で調整してもらわないと難しい。
- ・河南と競合する私学もいくつかある。

① 令和3年度学校経営計画、学校評価、令和4年度学校経営計画について

委員

- ・校内で英検の受験ができないのは、なぜか？

事務局回答

- ・コロナの影響によるもの。

委員

- ・今年度、学校行事で出来ていないものは？

事務局回答

- ・体育祭、ペナントが出来ていない。教員・生徒も次年度は、経験したことのない生徒ば

かりになってしまう。

**委員**

・「悩みを聞いてもらえる担任以外の・・・」数値が低い原因は何か？

**事務局回答**

・「担任以外の」文言を付け加えたため。その日に、すぐに相談出来ていないことや、担任以外に相談する機会が少ないので、次年度は相談出来る環境を作っていく予定にしており、数値は戻ると考える。

**委員**

・「スクールカウンセラー」の活用は？

**事務局回答**

・スクールカウンセラーは、活用出来ているが、そこに行くまでの段階での聞き取りを工夫していかなければならない。

**委員**

- ・小学生も減っている。1年生は2クラス。見守り隊をしていても20分ほどで全員が帰ってしまう。
- ・コロナの中で、体育祭・文化祭も知らない、行事も変わっていかなければならない。
- ・先輩からの職業や勉強に関する情報を直接聞く機会を得ること。先生からと違う刺激があるので、是非機会を設けてほしい。

② 授業アンケート（第2回）について

**委員**

・良い結果が出ているので、引き続きお願いしたい。

③ 学校教育自己診断の結果について

**委員**

- ・綺麗に整理されており見やすい。良い結果がたくさん出ている。
- ・進路決定が3年生になってからが多い。
- ・学校満足度の数値が高い。
- ・コロナ禍の学校行事の在り方、新定番のようなものを作っていけばよいのでは。
- ・大胆に打ち出せばよいのでは。

④ 今年度を振り返って

○進路途中経過

**委員**

・コロナ禍でありながら、とても良い結果が出ている。

○広報委員会

**委員**

・合格者に男子が多いとのこと、体育の組み分け等大変では。